

出張！一花いっぱい花壇作り

谷村伴子

グリーンアドバイザー、ハンギングバスケット本部講師

■コミュニティガーデンの3つのキーワード

- ローメンテナンス
- ローコスト
- エンジョイ♪

■ ローメンテナンス花壇のためのポイント

✓土壌改良

しっかり土づくりをすることで、植物の生育がよくなります。ローメンテナンスの花壇を作るには、しっかり耕し、有機物（腐葉土、堆肥など）をすき込み混ぜることが大切です。

～ 理想的な土は、ふかふかとして「水はけ、水もち、通気性がよい」土です ～

【土壌改良の方法】

- *土の掘り返し：スコップで30cm くらいの深さまで掘りおこす
- *出てきた石や瓦礫を取り除く
- *（酸性土壌の場合）苦土石灰を入れ、弱酸性土壌にする
（1㎡あたり150～200gを目安）
- *有機物（腐葉土、堆肥）を混ぜる（1㎡あたり5ℓを目安）
- *水はけが悪い場合は、バーミキュライト、パーライトなどの土壌改良剤を投入する

✓ お手入れしやすい工夫

自分の手の届く範囲に植えることも非常に大切です。奥行きのある花壇の場合、植え込みの中に入っていかなければなりません。その場合は、花壇の中央に敷石を置く、枕木で小道を作るなどして、手が届くようにしておきましょう。

✓ 丈夫で育てる環境に合った植物を選ぶ

植物は光合成をしながら生きているので日光は不可欠です。植物の原産地を基本として考え、日光を必要とするもの、半日陰を好むもの、水が好きなもの、乾燥を好むもの、暑さ、寒さの耐性など、多種多様な特性があるので、育てる環境に合わせて選びましょう。

植物選びポイント その1 ➡ 多年草や低木で骨格を作り、植え替えを減らす

多年草：環境があえば何年にもわたって生き続ける草花です。冬の間は地上部が枯れるものもあり、花が咲く時期も短いものが多いです。葉の大きさ、形、質感を考えて選択するのがお勧めです。

(例：ローズマリー、ラベンダー、アガパンサス、クリスマスローズ、ベアグラス など)

植物選びポイント その2 ➡ 花期の長い一年草を選ぶ

一年草：庭に彩りを加える役目をします。

(初夏～秋：サルビア、コリウス、ニチニチソウ、ペントス、ベゴニア、ジニア など)

(冬～春：ビオラ、ノースポール、ハボタン、ストック、スイートアリッサム など)

✓ 土が見えている面積を減らし、雑草が生えない工夫

- ・ グランドカバープランツ（地面を覆う植物）で地面を覆うことで、土の乾燥や照り返しの防止、雨による泥はねの防止、雑草対策の効果も期待できます

【アジュガ、エリゲロン、タイム、ツルニチニチソウ、ラミウム など】